



イメージキャラクター
なごみちゃん

ふれあい・いきいきサロン通信

編集・発行：高松市社会福祉協議会
☎ (087) 811-5666

第10号(平成29年9月)

名前(地区名)	ハゼふようクラブ(鶴尾地区)
開催場所	ハゼ自治会集会場
開催回数	週3回(月・水・土曜日)
対象者・人数	鶴尾地区の高齢者 20人程度



元々は歓寿会(老人クラブ)が月1回行っていた活動が発展したもので、今年で25年目になります。月曜日は午後6時から、水・土曜日は午後1時からと時間帯を分けることで、昨年度は延べ2,100人が参加されています。

取材した土曜日は囲碁・将棋・オセロを楽しんでいました。指先を使うことで、前頭葉も活性化されるとのことです。ある女性参加者は「オセロや何十年振りやわ〜。」といいながらも、終盤に一手先を読むようになり鮮やかに逆転勝ちしました。

ここでは「みんなでつくるサロン」をモットーに、持ち回りの月当番を中心に活動内容やおやつメニューを考えています。お客さんで参加するのではなく、それぞれが責任感を持つことで日々の励みになっていると話されていました。

最後に、サロンの終わりに皆で歌う「ふようクラブの歌」を紹介します。(青い山脈のメロディーで!)

いつも明るく さわやかに
ふようの花の 咲くように
みんな仲良く 手を取り合って
ほほえみや 笑顔忘れず
歩みましょう♪



高松市社協では、地域で孤立しがちな高齢者や障がい者、子育て中の母親などの交流の場や仲間づくりのために、サロン活動を実施する各地区社協に対して、活動費の一部を助成し、地域住民の手によるつながりと支え合いのある地域づくりを支援しています。

「ふれあい・いきいきサロン通信」では、各地区のサロン活動をご紹介します♪
※助成の詳細や、掲載のサロンに関するお問い合わせは、高松市社協へお願いします。



名前(地区名)	西原いきいき会(国分寺南部地区)
開催場所	西原上集会場
開催回数	月1回程度
対象者・人数	西原地区の高齢者 16人程度



山田のなかの一本足のかし
 天気の良いのに みのがさつて
 朝から晩まで ただ立ち通し
 歩けないのか 山田のかかし

「西原いきいき会」は、地区の有志が、自宅に閉じこもりがちになっている高齢者のことを気にかけて、約10年前に開始しました。

参加者同士が顔を合わせ、少しでも笑顔になって帰ってほしいという思いの中、料理教室や踊りなど、様々なメニューを取り入れて活動しています。また、参加者全員で♪山田のなかのかかし♪(唱歌)をはじめ、童謡を歌うこともあります。ここでは、ただ歌うだけでなく、どんぐりコロコロの歌詞を水戸黄門のメロディにのせて歌うなど、毎回工夫を凝らしています。



取材した日は、講師としてげんき会の方をお呼びし、体操やレクリエーション、手遊びを行っていました。参加者同士がレクリエーションを通じてスキンシップをとることにより、ふれあいを通じた交流を図ることもできます。今後は、子どもと一緒に交流できる活動も取り入れ、三世代交流を実施していきたいとお話でした。

